

高齢者の元気を引き出す認知症ケア

埼玉

ケアの質を高めると、認知症のお年寄りは楽しく元気に暮らせます。
老人介護のエキスパートたちが、介護力を高める仕事術の極意をお伝えします。

2019年	
日時：3月3日(日) 10:00~16:20	受講料：5,000円 *受講料は当日会場で承ります。
会場：特別養護老人ホーム 諏訪の苑 【埼玉県さいたま市見沼区南中野 29】	
☆JR大宮駅東口6番「東新井団地」行きバス、終点下車徒歩1分 (※ 駐車スペースには限りがございます。お車でのご越しの際は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。)	

プログラム	10:00	人間学を根拠とした認知症ケア
	11:00	認知症を脳の病気と考える医療的アプローチにできることは、薬を使っておとなしくさせることだけ。認知症を人間学の視点からとらえ直すことで、豊かな認知症ケアの方法が見えてきます。 【生活とリハビリ研究所代表 三好春樹 】
	11:10	排泄ケアの現状と改善のポイント
	12:00	排泄ケアを制する者は介護を制すると言われる。介護現場を改善する切り札も排泄ケアが軸となる。長いアドバイザー経験から、お年寄りを元気にするノウハウをお伝えします。 (昼食) 【排泄ケアアドバイザー 福野初夫 】
	12:50	認知症ケアの王道とは何か
	13:40	医療は「側頭葉」にアプローチするが、介護は「前頭葉」にアプローチし、認知症の症状を改善してきた。また、薬に頼らないケアの王道をはずして歩んできた実践を報告します。 【作業療法士 松林誠志 】
	13:50	ユニットケア前夜からこれからの介護へ
	14:40	かつてのユニットケア・ブームは幻想で、介護現場はその幻想に振り回されてきたのではないか。ブームに惑わされず、あたり前の介護にこだわりつつ、介護のスキルを高めていく方法を提案します。 【理学療法士 加藤 慶 】
	14:50	[実技] 遊びリテーション次第
	15:40	小松一座は「遊びリテーション」の指導者集団である。特養・諏訪の苑は介護の中心に、遊びリテーションを取り入れている。かつて一世を風靡した一座による、スペシャルライブ。 【特別養護老人ホーム諏訪の苑 小松一座 】
15:50	[シンポジウム] 坂本さんの仕事を引き継ぐために	
16:20	三好春樹 + 福野初夫 + 松林誠志 + 加藤慶 + 小松丈祐	

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合のみ一週間以内にご連絡申し上げます。

主催 特別養護老人ホーム 諏訪の苑
埼玉県さいたま市見沼区南中野 29

共催 **なるほどケア塾** お問い合わせ
〒189-0011 東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 特門窓社内 ☎042-306-3771

Fax : 042-306-3772 ← **お申し込みはこちらへ Fax**

<参加者名> *施設の場合は施設名もご記入ください。	3/3(日) 埼玉 <参加人数> 名
<住所>〒 (自宅・職場)	
<TEL>	<FAX>